2023年10月22日

鹿富士金星 千代鈴に土

紙相撲新聞
第160回本場所
四～五日目号
編集・発行
日本紙相撲協会

千代鈴、横綱３場所目に初金星配給
全勝は大神楽、鉄甲ら４力士

【第百六十回本場所四日目～五日目】

すっかり秋を感じる季節となった１０月２２日に四日目と五日目が開催された。

先場所から盤石の相撲を見せていた横綱千代鈴が四日目に前頭の鹿富士に引き落としで敗れて初黒星。先場所から続いていた連勝も１４で止まった。五日目を終えて、５戦全勝は大関大神楽、関脇鉄甲、平幕の夢ノ花、剛勇山の４人となった。

↑四日目、千代鈴は平幕に番付を落とした鹿富士と対戦。
取組前、唯一の勝機と言っていた寄りを堪えて回り込んでの引き落しにまんまとはまって横綱初黒星を配給してしまった。

↓五日目、千代鈴は喜乃郷を取り直し後の取組で圧倒。「これなら文句ないだろう」と言わんばかりの押し倒しで圧倒した。

「今場所の優勝は千代鈴だろうなぁ。誰が千代鈴に土をつけるかが注目じゃないか？」と朝日松理事長。先場所からまったく相手に相撲を取らせない横綱相撲で連勝を続ける千代鈴に死角が見当たらない。今場所も初日から危なげない相撲で３連勝と今場所も全勝する勢い。

四日目はかつて一度負けたことのある鹿富士と対戦。「鹿富士が勝つとしたら、千代の寄りを回り込んで残してからの引き落としかないけど、今場所の千代はその回り込みを許さないだろうなぁ」と戦前予想をする鹿賀乃戸親方。

誰しもが千代鈴の勝利を疑わなかったが、勝負はまさか鹿賀乃戸親方が言った通り、俵をうまく左へ回って千代の寄りを残した鹿富士が引き落としで千代に土をつけた。

「金星だぁ！」と喜ぶ鹿賀乃戸親方。「千代は初めての金星配給じゃないか？」と錦風親方。「そうだね。確かに千代が横綱になって平幕に負けたのは初めてだね。でも、金星はうれしいけど、鹿富士は関脇経験者だからなぁ」とうれしさ半分の鹿賀乃戸親方だった。

千代鈴はまさかの敗戦ショックを引きずったか、五日目の喜乃郷との取組はビデオ判定となる微妙な一番となった。

喜乃郷には大関時代に左を差される相撲で負けたことがあり、春日根親方も「いやな相手だなぁ」と不安を口にしていた。四日目と同じように左を差して寄ったが正面土俵に寄り切れず、喜乃郷に回り込まれると体が前のめりとなり、審判員から千代の廻しがついたとの声が…。

しかし、叩き手が手を止めた時点では千代鈴の廻しは土俵についておらずビデオ判定に持ち込まれた。ビデオを全員で繰り返し見るも、廻しが土俵についたかは微妙なところ。協議の結果、取り直しとなった。

取り直しの一番は「誰が見てもわかるように決着をつけてやる！」と言わんばかりの相撲で千代鈴が喜乃郷をのど輪からの押し倒しで勝って連敗を免れた。

大関大神楽は先場所から体重が増えて早い相撲が目立つ。先場所は相手と相撲を取りながら、最後は自分の形に持っていき寄り切るという相撲だったが、今場所は左からすくうように左を差すと一気に走る力強い相撲を見せている。

四日目は勝ノ川に完勝して４連勝。五日目は前日に千代鈴を破っている鹿富士だったが、まったく寄せつけずに５連勝とした。「今場所は大神楽だなぁ」と春日根親方が早くも優勝予想を口にすると「まだ五日目が終ったばかりだし」と控えめな磯ノ海親方だった。

大神楽○（寄り切り）●勝ノ川

大神楽○（寄り切り）●鹿富士

鉄甲と四季嶋の勝間田部屋の新関脇の２人が３連勝と好調な滑り出し。「勝間田部屋での一押しは誰なのか？」といつも話題に上るが、勝間田親方自身も「これ」のいうのが見い出せずにいる。

「鉄甲じゃないの？」と友砂親方が尋ねるも「まだ分からないっす。」と勝間田親方。しかし、四日目に伊達の富士、五日目に白閃光を倒して初日から土つかずの５連勝。「やはり鉄甲か？」との問い掛けに対する結論は今場所の結果を見てからだろう。

四季嶋は四日目に鬼ヶ嶽に勝ったものの、五日目に伸長著しい前頭筆頭に躍進の西神門に押し倒しで敗れて初黒星を喫した。

鉄　甲○（引き落し）●白閃光

鉄　甲○（押し出し）●伊達富